

VMware vRealize Automation

概要

VMware vRealize™ Automation™ により、IT 部門は、インフラストラクチャ / アプリケーション / カスタム サービスをパーソナライズされた形で迅速に提供でき、IT の全体的な効率性を高めることができます。ポリシー ベース管理と、論理的なアプリケーションのモデリング機能は、マルチベンダー、マルチクラウドのサービスを適切なサイズとサービスレベルで提供することを可能にします。また、ライフサイクル全体の管理機能は、リソースを最適な運用効率で維持することを可能にし、リリースの自動化機能は、開発および展開のプロセスを通じてアプリケーションの迅速な展開を実現します。vRealize Automation により、IT 部門はビジネスの変革に貢献できるようになります。

主なメリット

- **俊敏性**：アプリケーション、インフラストラクチャ、デスクトップ、任意のカスタム サービスなど、IT サービスの提供を自動化することで、ビジネス ニーズへ迅速に対応します。
- **管理性**：パーソナライズされた業務関連ポリシーによって、アプリケーション展開の標準、リソース割り当て、サービスレベルが適用されます。
- **柔軟な選択肢**：幅広いベンダーとマルチクラウドをサポートし、拡張可能な設計であるため、既存の投資を保護し、将来のテクノロジーに対応することができます。
- **効率性**：コストを削減しながら、IT サービス デリバリーを向上させます。



図 1: IT サービス提供の自動化

IT サービス デリバリーの課題

多くの企業が、アプリケーションと IT サービスを迅速かつ効率的に提供する方法を模索しています。競争が激しく加速するビジネスには、個々のプロセスを手動で実行している時間はありません。IT ユーザーは、プライベートで利用しているサービスと同じレベルで業務を行うことを望んでいます。ネットワーク接続や、新しいアプリケーションおよびコンピューティング リソースを要求したときに、数日または数週間待たされることなく、これらを数分で利用できることを期待しています。IT 部門が期待しているレベルのサービスを提供できない場合、業務部門はできるだけ早くサービスを利用するため、代替案を探し始めます。

vRealize Automation の機能

vRealize Automation はアプリケーションとコンピューティング サービスの展開および管理を推進することで、ビジネスの俊敏性と運用効率の向上を可能にします。次の機能により IT 部門は、自動化され、オンデマンドで利用可能なクラウド インフラストラクチャを展開し、その価値を短期間で実現することができます。

- **包括的な専用の機能**
vRealize Automation は、プライベートおよびハイブリッドクラウド サービスの提供と継続的な管理を可能にする専用のソリューションです。世界で最も要求の厳しい環境における幅広い導入実績があります。
- **業務に合わせたカスタムの制御機能**
IT 管理者は、企業のプロセスやポリシーを変更することなく、任意の方法でクラウドを利用した業務を行うことが可能です。企業は、業務部門が必要に応じて異なるサービス レベル、ポリシー、および自動化プロセスを利用するための柔軟性を獲得できます。
- **アプリケーション サービスのプロビジョニングと管理**
展開プロセスを効率化し、再利用可能なコンポーネントとブループリントを使用して作業の重複を排除することにより、アプリケーションの展開時間を短縮します。
- **インフラストラクチャの提供とライフサイクルの管理**
さまざまなベンダーが提供するインフラストラクチャを End-to-End で自動的に展開できるため、部門ごとに個別展開する必要がなくなり、IT サービスの提供時間が短縮されます。
- **拡張性に優れた設計**
vRealize Automation では完全な拡張オプションを提供しているため、IT 担当者は既存の IT インフラストラクチャとプロセスを使用してクラウドを採用および導入することが可能になります。これにより、高額なサービスを利用する必要性が排除され、リスクが低減されます。

主な機能

パーソナライズされたセルフ サービス環境の提供

- 統合 IT サービス カタログ：インフラストラクチャ、アプリケーション、およびカスタム サービスの提供
- パーソナライズされたポリシー ベースのガバナンスにより、特定のビジネス ニーズを満たすための適切なサービス レベルを確保
- 自動化による IT サービス提供の促進

マルチ ベンダー、マルチ クラウド インフラストラクチャにわたって展開

- 既存および未来のテクノロジーを柔軟に選択できるため、投資の保護が可能
- ハイブリッド クラウド環境を可能にするガバナンスと管理性の提供
- ビジネス ニーズを満たすために適切なクラウドのプラットフォームとロケーションを柔軟に選択可能

1 回のアプリケーションのモデル化で、あらゆる 場所に展開

- ドラッグ アンド ドロップ形式のインターフェイスを備えた視覚的なキャンバスを使用し、事前に構築されたコンポーネントからアプリケーションを編成することで、設計プロセスを効率化します。
- 標準構成に基づいたミドルウェアと統合マルチティア アプリケーションを迅速に展開
- VMware およびパートナーが提供するブループリントのライブラリを活用

アプリケーション リリース自動化の簡素化

- ハイブリッド クラウド上の開発、テスト、および本番環境に一貫した環境を迅速にプロビジョニング
- 変更を迅速に適用またはロールバックし、環境間の一貫性を維持
- Chef、Puppet、および SaltStack のような既存の構成管理ツールを活用して、ワークロードの展開スピードを加速

拡張可能な自動化プラットフォームにより、 短時間で価値を実現

- さまざまな専用機能を包括的に提供し、マルチ ベンダー、マルチクラウド サポートを幅広くサポート
- vRealize Automation 専用の機能を包括的に提供および拡張
- カスタム IT サービス提供の自動化
- VMware とパートナー企業が VMware の Cloud Management Marketplace で提供しているソリューションを活用

プロフェッショナル サービス

VMware プロフェッショナル サービスは、IT がもたらす可能性をビジネスの成果へと変えていきます。VMware サービスの包括的なポートフォリオにより、VMware のテクノロジーがもたらす新しいビジネス チャンスを見出し、ビジネスを推進できます。

比類のない製品の専門知識と経験を活用しながら、お客様と協力し合い、IT の変革を推進するための技術、ユーザー、プロセス、財務上の課題を解決し、IT とビジネスに具体的で確かな成果をもたらします。

- アドバイザリー サービス
- クラウド運用アドバイザリー サービス
- テクノロジー コンサルティング サービス
- テクニカル アカウント マネージャ (TAM) サービス
- 教育サービスおよび認定プログラム

vRealize Automation の購入方法

VMware vRealize Automation は単体製品としてご購入いただくか、クラウド管理プラットフォーム ソリューションである VMware vRealize Suite または VMware vCloud Suite[®] のパッケージの一部としてご購入いただけます。お客様のニーズに最適なエディションをお選びください。

| 機能 | Standard ¹ | Advanced | Enterprise |
|--|-----------------------|----------|------------|
| VMware のインフラストラクチャ サービス、クローン作成のみ、VMware vRealize™ Orchestrator™ との連携 | ○ | ○ | ○ |
| マルチ ベンダー、マルチ クラウド インフラストラクチャ ² 、マルチ ベンダー ソフトウェアのプロビジョニング | ○ | ○ | ○ |
| カスタム サービス (XaaS)、承認、回収、チャージバック、マルチテナント | | ○ | ○ |
| アプリケーション サービス、リリースの自動化、DevOps の統合 | | | ○ |

¹ vRealize Automation Standard Edition は、VMware vCloud Suite Standard の一部としてのみ入手可能。

² マルチ ベンダー、マルチ クラウド管理機能は、vRealize Automation と、クラウド管理プラットフォーム ソリューションの vRealize Suite でのみ提供。vCloud Suite のライセンスでは、プライベート クラウド内の VMware vSphere[®] のリソース管理のみが可能。

詳細情報

VMware 製品のご購入、または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

製品仕様およびシステム要件の詳細については、VMware vRealize Automation のインストールおよび構成に関するドキュメントを参照してください。

